

— 資料編 —

【資料1】芸術文化団体等からの意見聴取結果

平成30年度に市内で芸術文化に携わっている人々の意見・要望を計画の施策に反映させるため、芸術文化団体等に聴き取り調査を行いました。

I アンケート調査

1 調査の方法

- 調査方法 アンケート方式による調査。聴き取り又は郵送。
- 調査期間 平成30年8月から平成30年11月まで。
- 調査用紙 自らが芸術文化活動の実践者となる個人・団体を対象とするアンケート用紙と、発表の場を提供し、参加者を募って芸術祭などのイベントを開催するイベント関連団体等を対象とするアンケート用紙の2種類使用。
- (1) 盛岡市の芸術文化振興に関するアンケート(大学・公民館利用者・活動団体用)
- (2) 盛岡市の芸術文化振興に関するアンケート(イベント関連団体・町内会、その他用)
- 調査対象 芸術文化活動団体、公民館等の利用者、大学生、イベント主催者(実行委員会)、町内会連合会、地区福祉推進会、NPO法人など。
- 回答数 76団体。組織・活動形態と分野は次のとおり。

<区分>

芸術文化団体	公民館利用者	学生	イベントの実行委員会	町内会・福祉推進会	NPO法人	合計
24	24	19	6	2	1	76

<分野>

音楽(合唱, 弦楽吹奏楽など)	舞台芸術(洋舞, 演劇など)	伝統芸能・伝統音楽(能楽, 三曲, 民謡など)	美術(日本画, 洋画, 写真, 工芸など)	生活文化(華道, 茶道, 書道など)	文学	分類なし	合計
28	7	9	11	8	3	10	76

2 アンケート調査結果の分析

1 大学・公民館利用者・活動団体

(1) 成果を発表する機会について

問1の「定期公演，発表会，展示会など，成果を発表するイベントを行っていますか。」については，団体，学生とも約9割が「行っている」という回答でしたが，問2によると，その費用は，「積み立てている会費」と「会費負担」という会員による負担が5割を超えています。

問17の「活動の成果を発表する機会を増やすために，市の取組としてどのようなことが必要だと思いますか。」については，団体，学生とも「会場費用の助成」が約5割と最も多く，次に「芸術文化のイベントの開催」と続いており，経済的支援や発表の場の提供などが求められています。

(2) 団体の活動の充実について

問11の「活動についてホームページやSNSなどを利用した情報発信を行っていますか。」については，団体が30.4パーセントだったのに対し，学生は68.4パーセントが「行っている」という回答でした。

また，問16の「市は新たに芸術文化に興味を持った人への団体等の情報提供や，団体への市内の芸術文化情報の提供のために，市内で活動されている団体を把握し，団体名，活動内容，入会方法，成果発表会の情報，連絡先などをお知らせすることを検討していますが，希望しますか。」については，団体の81.8パーセント，学生の57.9パーセントが「希望する」という回答でした。

すでに，ホームページやSNSを活用した情報提供を行っている学生に比べ，団体については情報発信への協力が有効と考えられます。

(3) 活動における課題について

問12の「活動を継続していくために，困っていることはありますか。」については，団体は「若者の参加が少ない」が37.6パーセントと最も多く，「会員数の減少」が続いています。また，学生では，「会員数の減少」が26.5パーセントと最も多く，続いて「会費が高い」となっています。若い世代も含め，より多くの世代が活動に参加できるような取組が求められています。

問13の「お困りのことについて，どうなればよいと思いますか。」については，団体からは，勧誘への市の協力，触れてもらう機会（体験会）の開催，公民館等の利用施設での無料公開講座の開催などといった意見がありました。学生からは，地域の団体の情報のホームページ掲載，各団体が合同で参加できるイベントの企画などの意見がありました。

(4) 盛岡市の取組について

問18の「芸術文化に携わる人材を育てるために、市の取組としてどのようなことが必要だと思いますか。」については、団体では「子供を対象とした事業の実施」「公民館等の活動団体の周知」が15.7パーセントと最も多く、学生では「街なかや地域、学校での芸術普及活動」が23.5パーセントと最も多く、次に「学校や地域での文化に触れる機会の提供」が続いています。子供の頃から芸術文化を鑑賞・体験することができる事業や学校での芸術普及活動の推進が求められています。

問20の「芸術文化活動に取り組む団体等への支援として、どのようなことを期待しますか。」については、団体、学生とも「成果発表のための費用への助成」が最も多く、次に「公民館等で活動する活動費への助成」が続いています。継続的な活動においては、会場使用料などへの経済的な支援を求める意見が多く、また、発表や練習のための場所の確保については、ホームページにおける活動場所や予約状況の情報提供、利用料金の設定や予約方法の統一を求める意見がありました。

2 イベント関連団体・町内会・その他

(1) 活動の内容について

問1の「文化に関するイベントを開催するにあたって、苦労されている点はどんなことですか。」については、「出演者、出品者の募集や確保」が21.9パーセントと最も多く、次に「運営費用」という結果でした。

(2) 盛岡市の取組について

問3の「市や盛岡市文化振興事業団、盛岡芸術協会では、次のような事業を行っていますが、さらに充実してほしい事業はありますか。」については、「市ホームページにおける情報発信」が15.8パーセントともっとも多く、問4の充実してほしい内容においても、「市が持っているメディアへの情報掲載」や「市から報道機関への取材要請」などの意見があり、情報発信への協力が求められています。

問7の「市内の幅広い芸術文化情報を国内外に発信するために、市の取組としてどんな方法が有効だと思いますか。」については、「SNSやYouTubeなどのメディアの活用」が29.2パーセントと最も多くなっており、多様な手段を活用した情報発信の充実が必要と考えられます。

問8の「芸術文化活動を行う団体等への支援として、どのようなことを期待しますか。」については、「成果発表のための費用への助成」が最も多く挙げられましたが、「場所と活動団体等とのマッチング」や「〇〇祭りなどの企画運営」、「空き物件の活用」などの意見もあり、経済的な支援のほかにも様々な場面でコーディネーターとなるような役割も求められています。

3 盛岡市の芸術文化振興に関するアンケート(大学・公民館利用者・活動団体用)

1 成果を発表する機会について

【問1】 定期公演，発表会，展示会など，成果を発表するイベントを行っていますか。

(回答数 67)

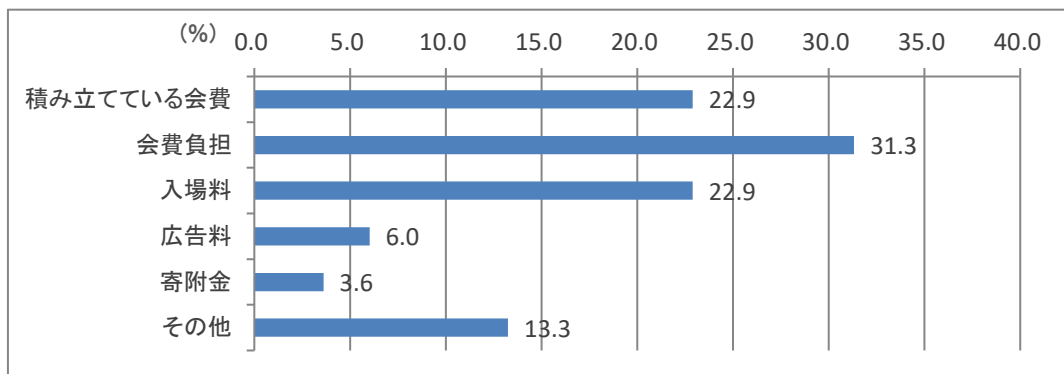
【回答】 団体では 93.8 パーセント，学生では 89.5 パーセントが「行っている」という回答でした。

【問2】 質問1で「行っている」とお答えの場合，費用はどのようにしていますか。

(複数回答)

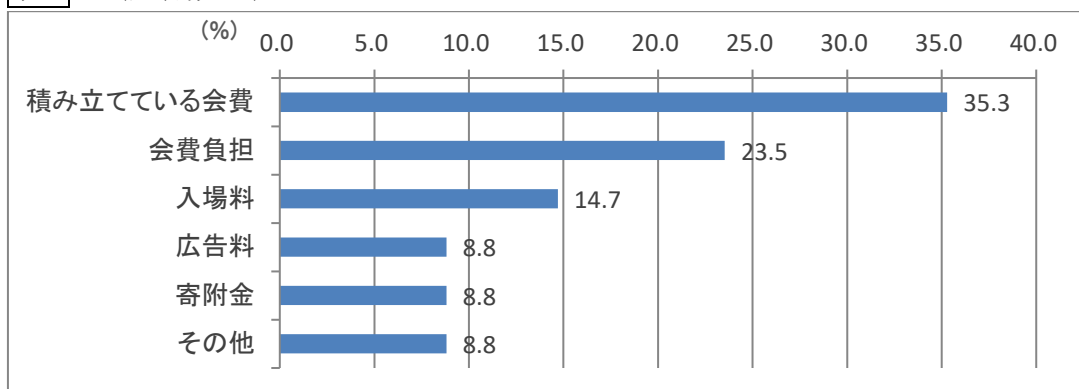
「積み立てている会費」と「会費負担」という会員による負担が団体で 54.2 パーセント，学生で 58.8 パーセントとなっており，次に「入場料」となっています。

【団体】 (回答数 83)



(その他) 出品料，助成金，補助金

【学生】 (回答数 34)



(その他) 大学からの活動援助金

【問3】 成果を発表するイベントを開催するために工夫されていることはありますか。

団体 チラシ，招待券の配布／ポスター掲示／会員による口コミ／公民館まつりへの出品
 ／入場無料の演奏会／商店街イベントでのPRとチケット販売／ダイレクトメールの送付／
 体験コーナー／福祉施設へのボランティア活動／新聞各社，フリーペーパーへの情報掲載
 ／HP・SNSによる宣伝／他の演奏会プログラムへのチラシの折込／小学校との交流

学生 大通りや商業施設での宣伝活動／ポスター掲示／雑誌への広告掲載／チラシ配布／
 SNS（ツイッター）・HPによる告知／ダイレクトメールの送付／各高校へのポスター
 配布／報道用の案内送付／出演バンドの選考会

【問4】 成果を発表するイベントを開催しない理由はありますか。

団体 体力的にできない／会員が少なく経費を賄えない

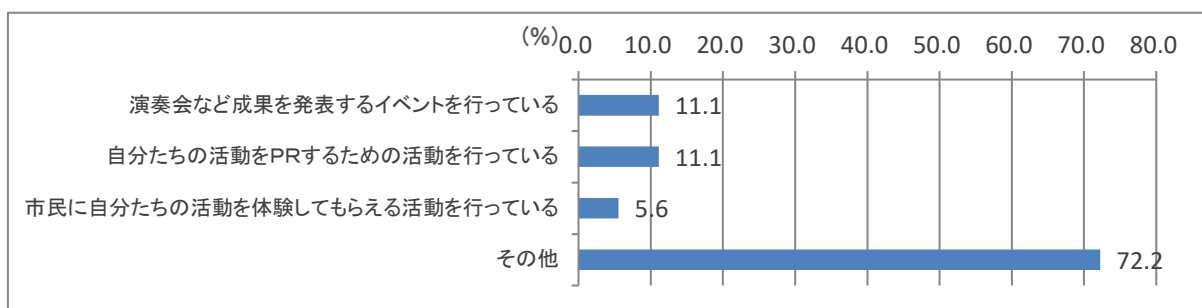
学生 前例がなく予算など必要量が分からない

【問5】 普段の活動の中で，文化会館や公民館だけではなく，商店街や街なか，地域などで活
 動を行うことはありますか。（回答数 67）

回答 団体の 43.8 パーセント，学生の 42.1 パーセントが「行っている」という回答でした。

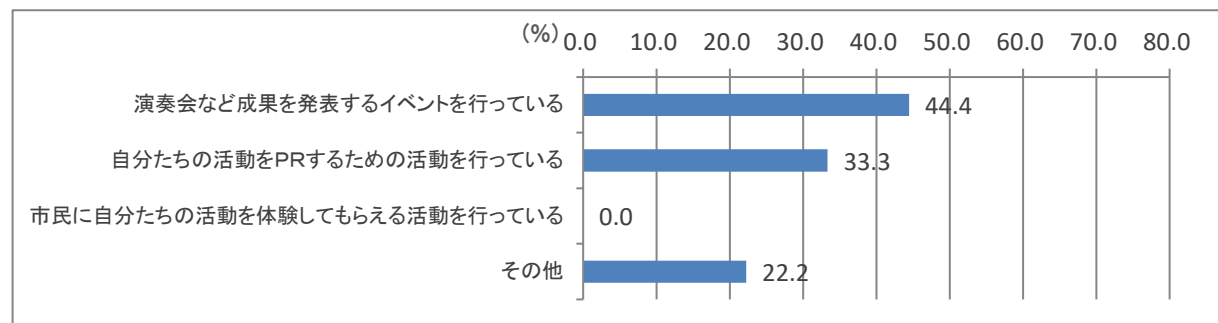
【問6】 商店街や街なか，地域などで活動を行う場合，どのような活動を行っていますか。

団体 （回答数 18）



（その他）福祉施設や学校施設等への訪問演奏／岩手県芸術文化協会の派遣事業／画廊でのグループ
 展／町内会のお祭り，地域の敬老会等への参加

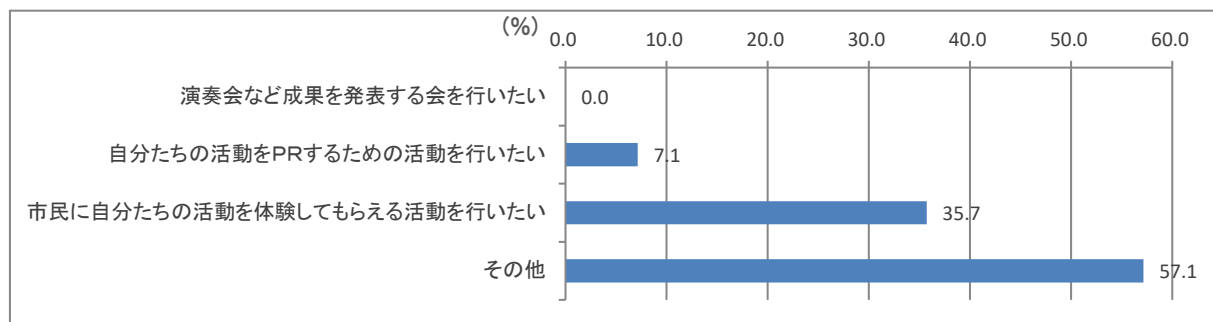
学生 （回答数 9）



（その他）演奏依頼

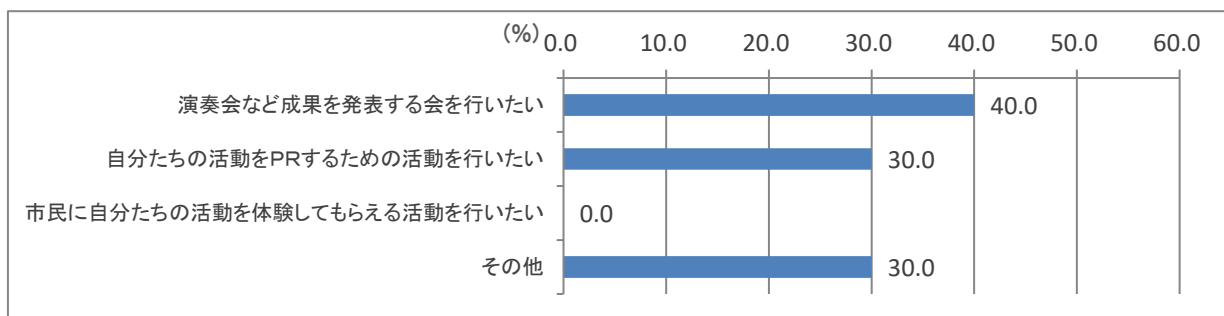
【問7】 質問5で「行っていない」とお答えの場合，今後やってみたい活動はありますか。

団体 (回答数 14)



(その他) 盛岡芸術祭美術展を盛り上げたい／空き店舗を利用した小華展／小中学校での演奏活動／体験イベント・ワークショップの開催など。

学生 (回答数 10)

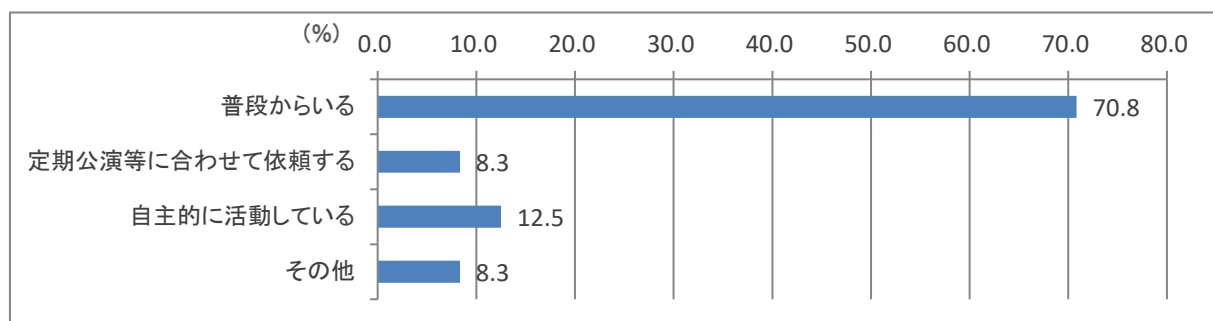


(その他) サークルなので難しい／普及したいなど。

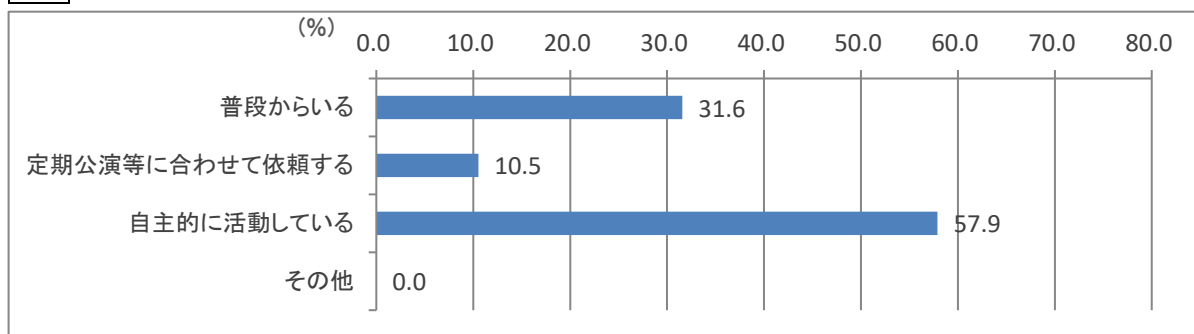
2 団体の活動の充実について

【問8】日頃、活動を行うにあたり、指導者はいますか。

団体 (回答数 48)



学生 (回答数 19)



【問 9】 団体への加入や活動への参加を希望する人達に対して、どのような周知を行っていますか。

【団体】 公民館まつり等への参加・作品展示／活動拠点へのポスター・チラシの掲示／HPへの活動内容や募集の掲載／口コミ／体験会／公演チラシ・プログラムへの会員募集掲載／練習見学／二科会など組織を通じた周知／盛岡芸術祭出品者への勧誘／中学校，高校への案内／SNSの活用／タウン誌への掲載／ミニコンサート／会報／大会，発表会での募集案内など。

【学生】 SNS（ツイッターなど）による宣伝／オリエンテーションなど大学行事での演奏，チラシ配布／HPでの活動紹介／大学構内へのポスター掲示など。

【問 10】 会員等を増やしたり，後継者を育成するため，どのような活動を行っていますか。

【団体】 会員による口コミ／公民館まつり等への参加・作品展示／活動拠点へのポスター・チラシの掲示／HP，SNSでのPR／体験会／講習会を開催し指導者を養成／定期公演／地域のイベントでの演奏活動／全日本写真連名岩手県支部月例会での指導／中学，高校，大学とのジョイントコンサート／華展への学生コーナー設置／月茶・福祉茶会の開催／公民館での体験学習，文化祭への参加／国内外で活躍する指揮者の指導／芸術祭での演奏機会の提供／勉強会／合唱協議会連盟の研修会参加／審査員派遣／初心者講座／指導者講習会など。

【学生】 ミニライブ開催／新入生向けイベントへの参加／知人を通じた勧誘／バンド同士の練習交流／勉強会／地域のイベントへの参加／ツイッターでの勧誘／HPでの活動紹介／小中学校や福祉施設での演奏／機材についての講習会／学園祭での書展やパフォーマンス／演奏会での部員募集など。

【問 11】 活動についてホームページやSNSなどを利用した情報発信を行っていますか。

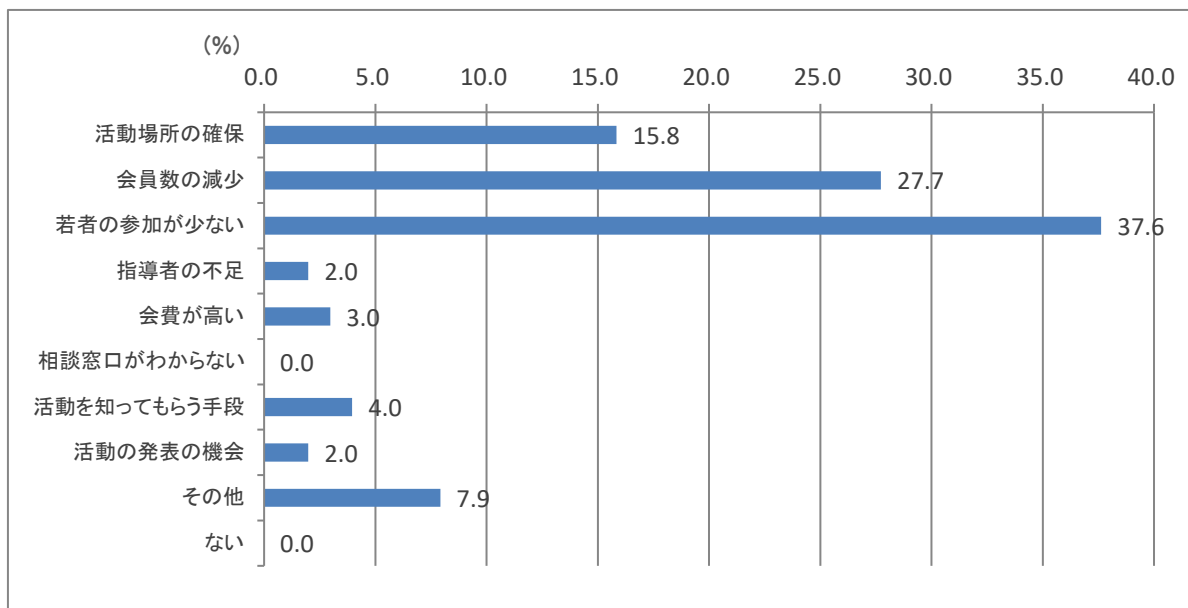
(回答数 65)

【回答】 団体が 30.4 パーセントだったのに対し，学生は 68.4 パーセントが「行っている」という回答でした。

3 活動における課題について

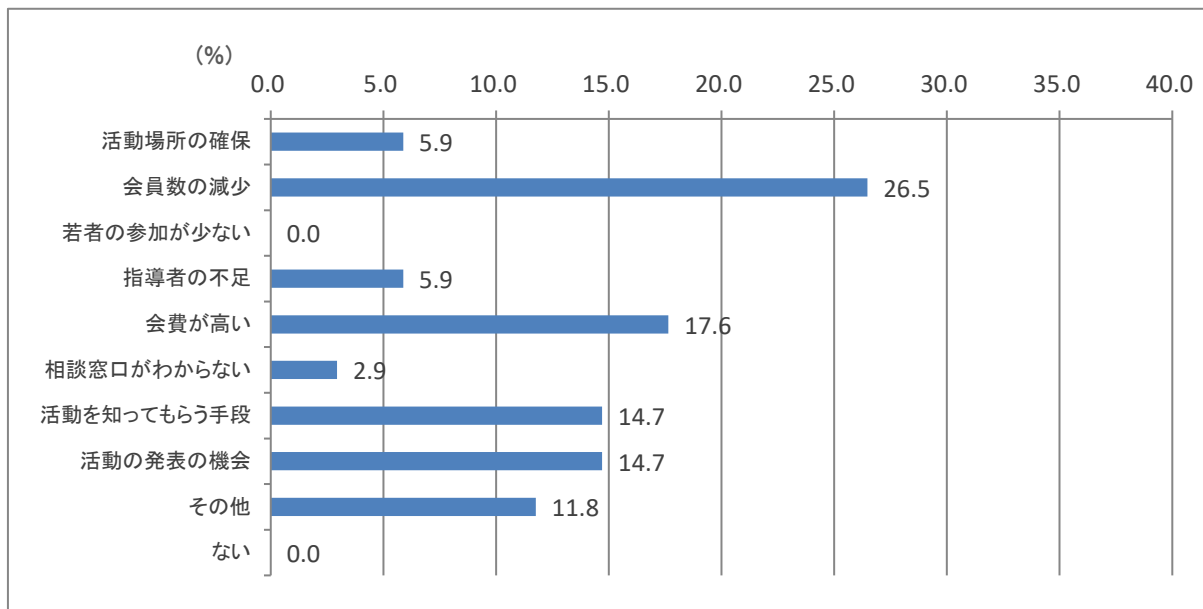
【問 12】活動を継続していくために、困っていることはありますか。（複数回答）

団体（回答数 101）



（その他）発表会場の確保／会場の予約開始が3ヵ月前からしかできない／会場使用料を安価にしてほしい／観客の高齢化／備品の維持管理／減免や助成金申請の仕方がわからないなど。

学生（回答数 34）



（その他）参加する人が固定化しているなど。

【問13】 お困りのことについて、どうなればよいと思いますか。

団体

（活動場所の確保）予約状況の確認サイトがほしい／体育館の開放と公民館，活動センターの予約を1年前からにする／市有施設の改修工事の時期の検討／楽団の練習ができる広い場所がほしい／市HPにおける活動場所の情報提供／和室のある施設を増やす／円滑な会場確保／安く借りられる施設／一定の条件のもとでの優先予約／公共施設の予約方法の統一／利用調整会議前の空き情報の提供など。

（会員数の減少）公共施設の趣味のコーナーへの記載／若い世代のために練習時間を夜にしたいが現会員には難色を示される／勧誘への市の協力など。

（若者の参加が少ない）各教室や大学等において芸術祭への出品を増やす／触れてもらう機会の提供／高校生を勧誘するためのチラシ配布／体験会／古典芸能など中央でしか観られないものと呼んで，子供たちに関心を持たせる／利用施設と協力して無料公開講座を行うなど。

（指導者の不足）技術向上のための指導者の情報／指揮者や指導者の確保への支援／技能講座，指導者養成講座の開催など。

学生

（活動場所の確保）利用料金に学生料金設定／活動費が増えれば他市でも演奏したい／街なかに安く借りられるフリースペースがほしいなど。

（会員数の減少）地域の団体の情報をHPに掲載／各団体が合同で参加できるイベントの企画／音楽を楽しめればよい／中高生との交流の場／技術向上で活動に魅力を持ってくれる人を増やしたい／オープンキャンパスでの活動告知など。

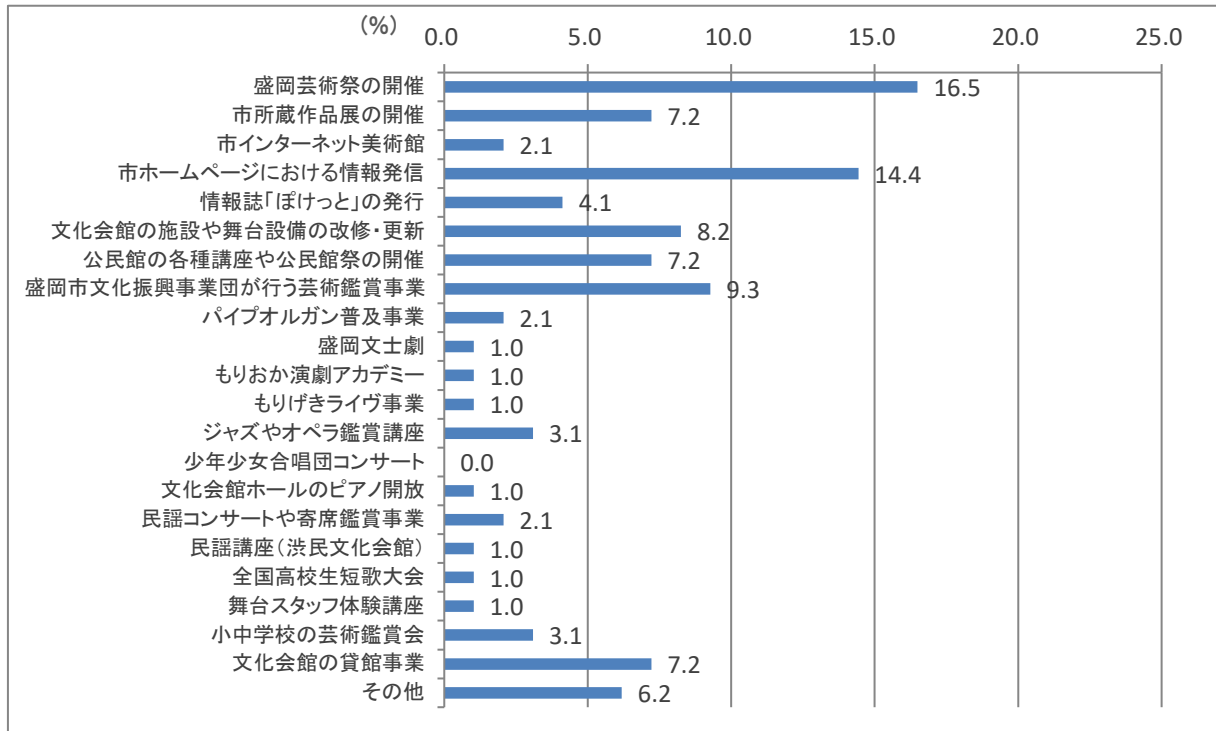
（指導者の不足）ゴスペルの指導者がほしいなど。

（その他）市からの援助金／廃校になった学校の楽器を借りたい／活動予算の増額など。

4 盛岡市の取組について

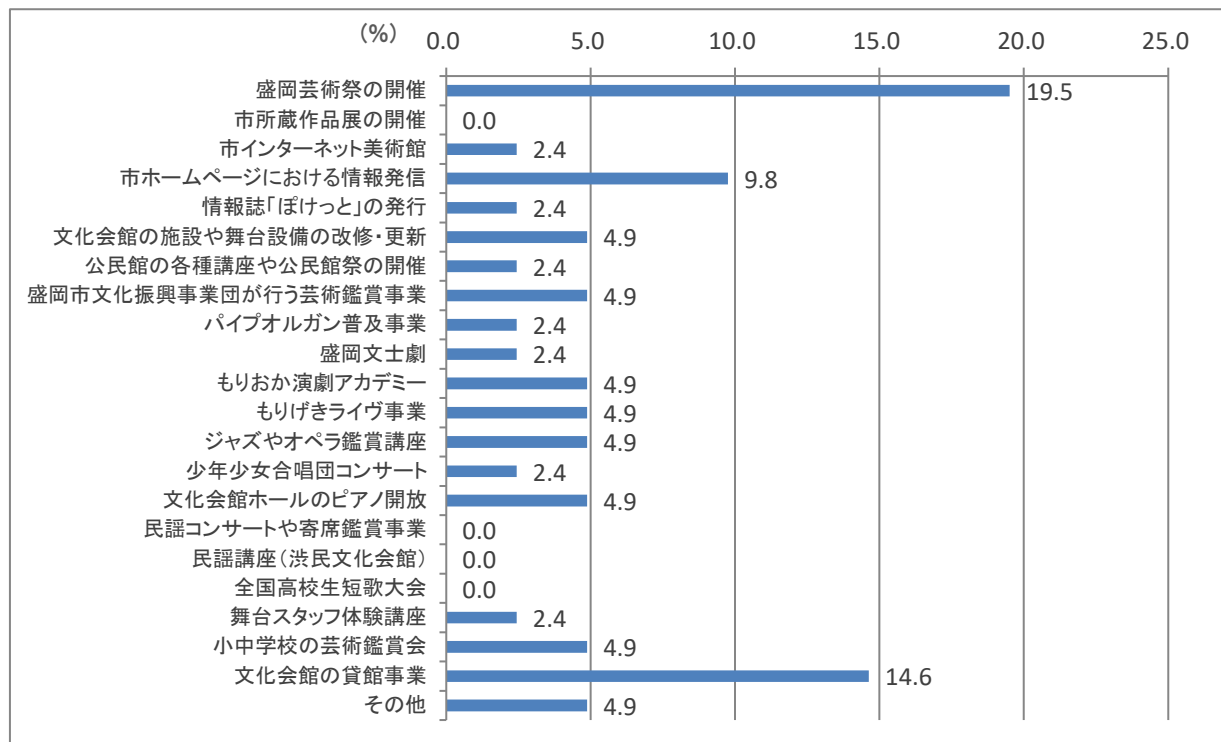
【問 14】市や盛岡市文化振興事業団，盛岡芸術協会では，次のような事業を行っていますが，さらに充実してほしい事業はありますか。（複数回答）

団体 （回答数 97）



(その他) 気軽にクラシック音楽を聴きたい／文士劇を大きい会場で開催してほしい／古典舞踊の体験教室を幼稚園や小学校関係者にアピールしてほしい／広報に会員募集の欄を載せてほしい。

学生 （回答数 41）



(その他) いしがきミュージックフェスティバル，なしなど。

【問 15】 充実してほしい内容について具体的に御記入ください。

団体

(施設) 都南地区への施設建設／高齢者や障がい者への目線での補助策 (階段の手摺や段差解消) ／施設器具の点検／トイレの洋式化など。

(事業内容) 事業団の事業に民謡公演を入れてほしい／公民館主催の俳句講座／市主催のワークショップなどの開催など。

(貸館事業) 広さのある会場確保／和室のある施設／もりおか歴史文化館や先人記念館等での茶会開催／防音でピアノ常備の部屋のある施設／料金の値下げなど。

(情報発信) HPでのジャンルごとの団体紹介／報道機関で取り上げてほしい／「演劇のまち盛岡」の宣伝など。

(その他) 小中学校への派遣事業／地元出身の若手活動家の活用など。

学生

(情報発信) 団体の情報収集／演奏会などの周知協力／盛岡芸術祭の開催周知など。

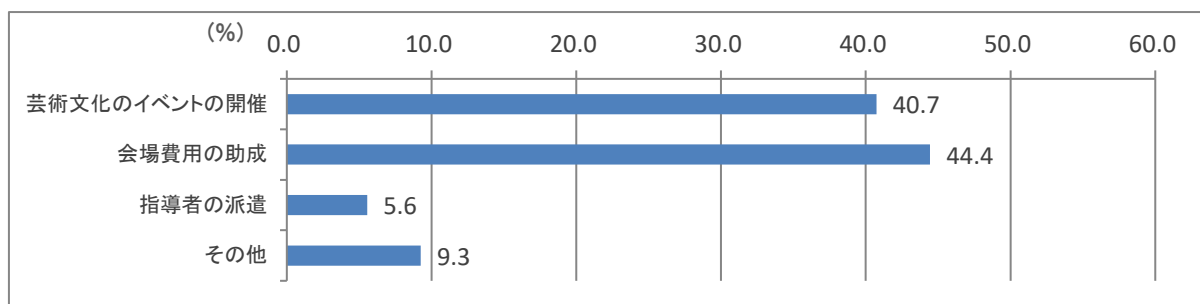
(事業内容) 学生の発表機会の提供／いしがきミュージックフェスティバルの盛り上げ／芸術祭の開催日の延長など。

【問 16】 市は新たに芸術文化に興味を持った人への団体等の情報提供や、団体への市内の芸術文化情報の提供のために、市内で活動されている団体を把握し、団体名、活動内容、入会方法、成果発表会の情報、連絡先などをお知らせすることを検討していますが、希望しますか。(回答数 63)

回答 団体の 81.8 パーセント、学生の 57.9 パーセントが「希望する」という回答でした。

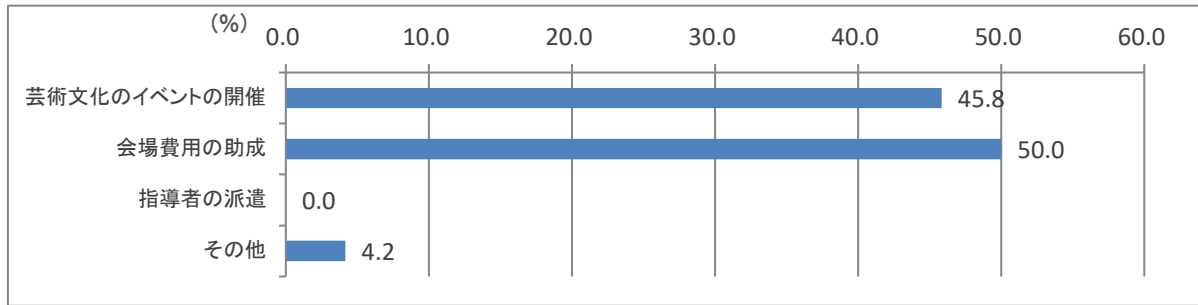
【問 17】 活動の成果を発表する機会を増やすために、市の取組としてどのようなことが必要だと思いますか。(複数回答)

団体 (回答数 54)



(その他) 体育館などの開放／今のままでよい／増やすと行事が重複して大変／会場が借りやすい仕組み

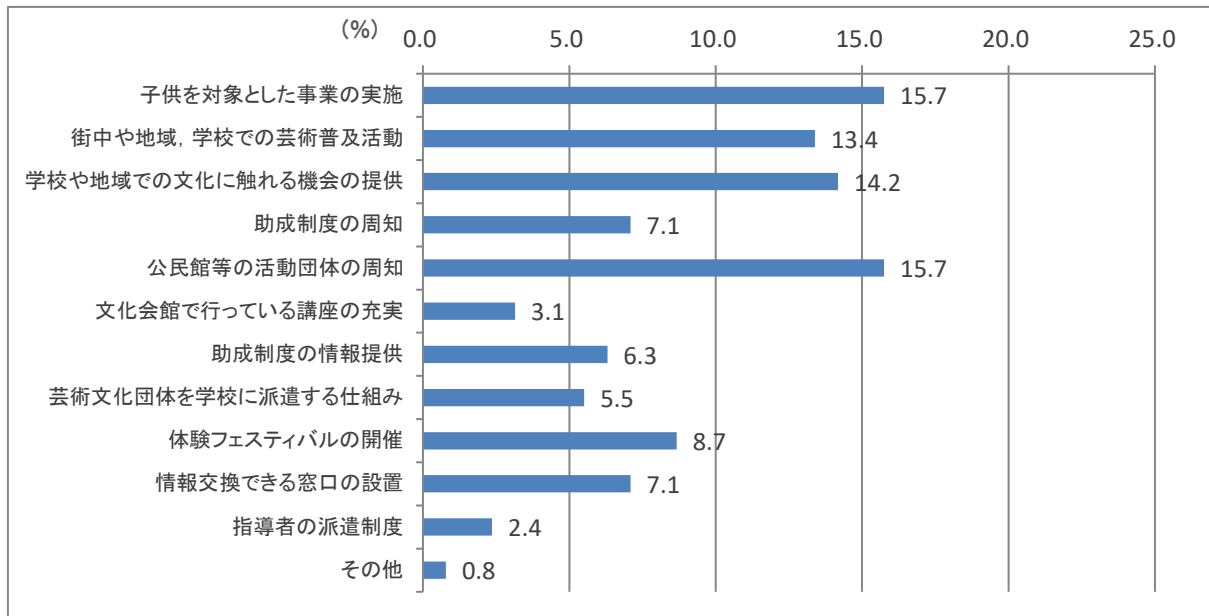
【学生】 (回答数 24)



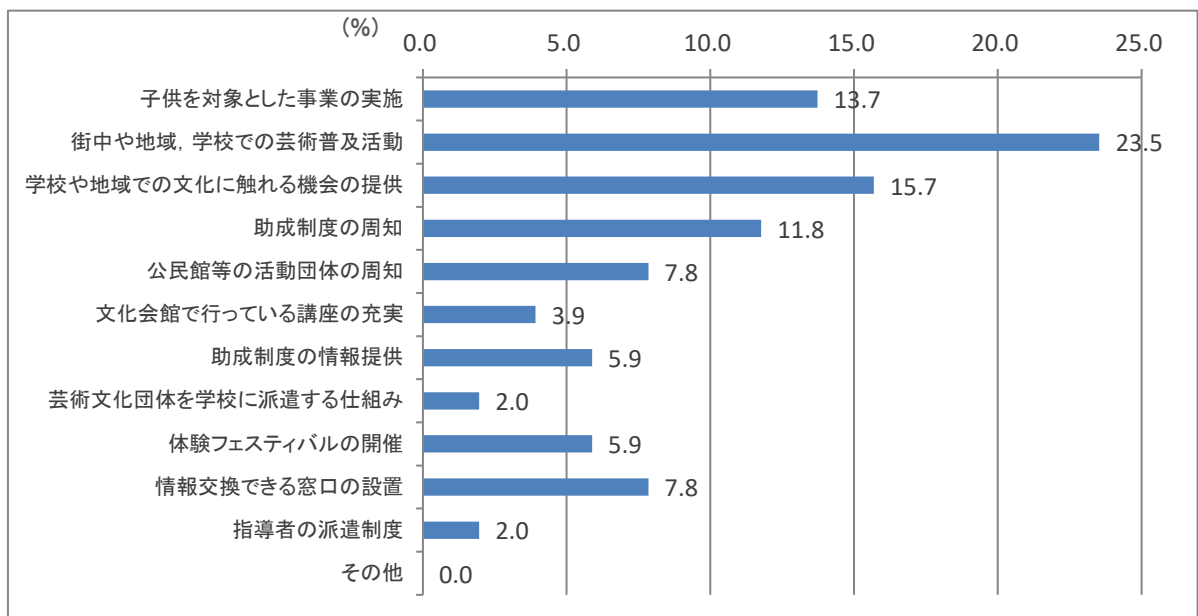
(その他) 市主催の演奏会

【問 18】芸術文化に携わる人材を育てるために、市の取組としてどのようなことが必要だと思いますか。(複数回答)

【団体】 (回答数 127)

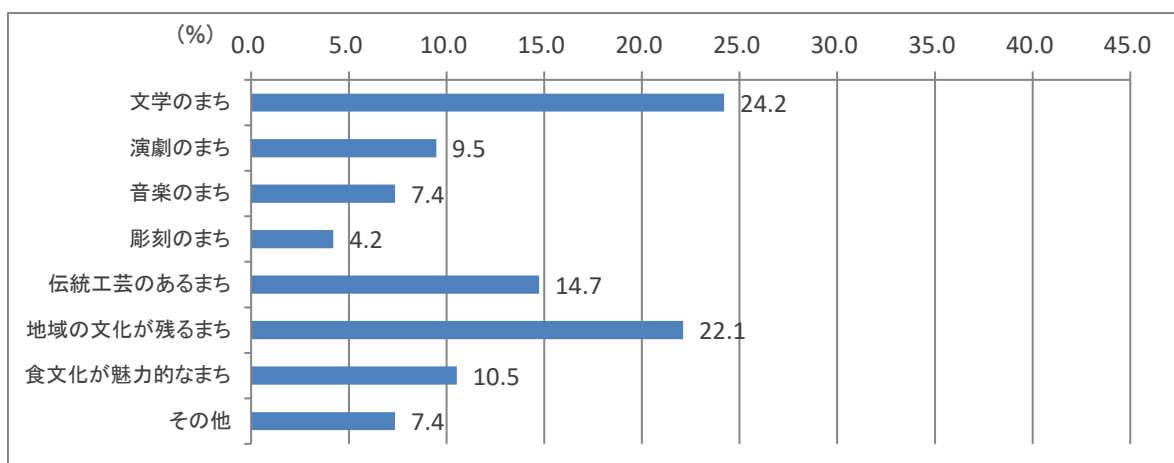


【学生】 (回答数 51)



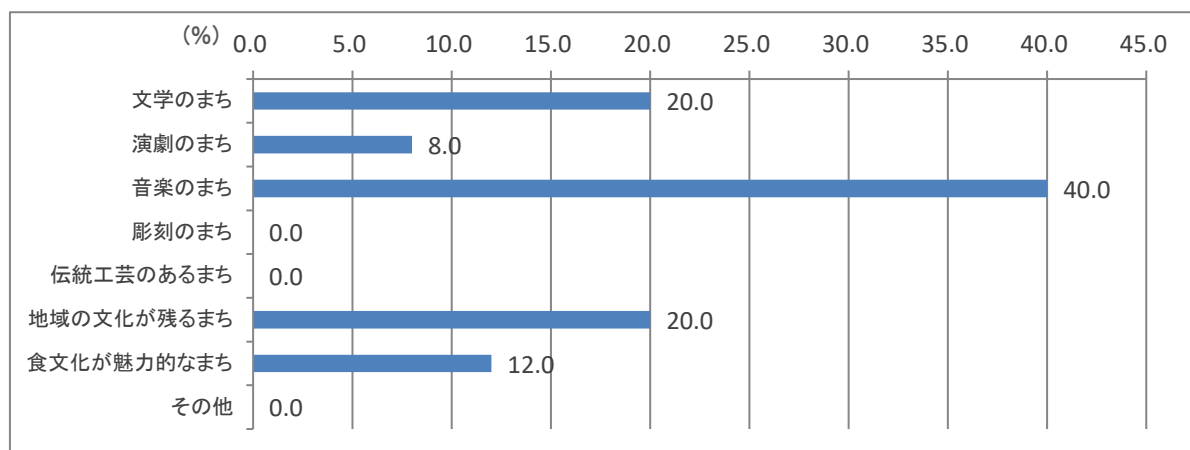
【問 19】盛岡を発信していく文化として、どのようなものをイメージしますか。

団体 (回答数 95)



(その他) 芸術文化活動が自由に行えるまち/芸術文化を大切にするまち/選択肢すべて/どれか一つは難しい/歌碑のまち/古典舞踊のまちなど。

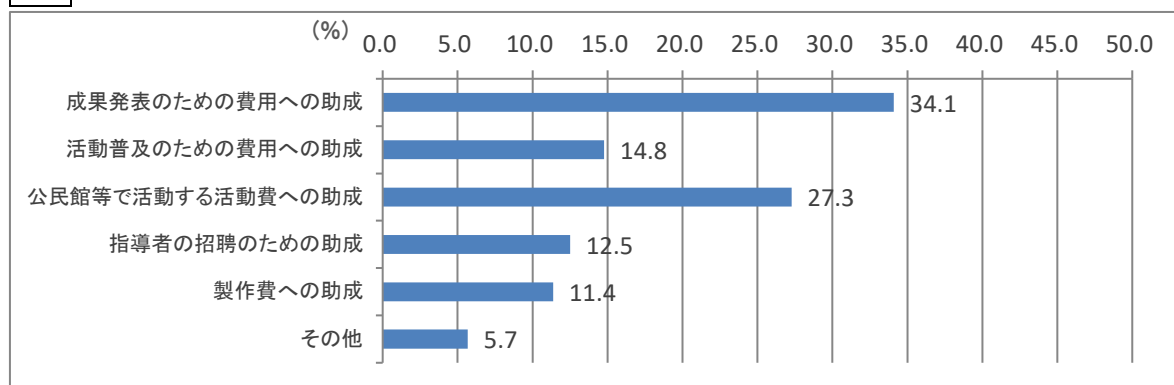
学生 (回答数 25)



【問 20】芸術文化活動に取り組む団体等への支援として、どのようなことを期待しますか。

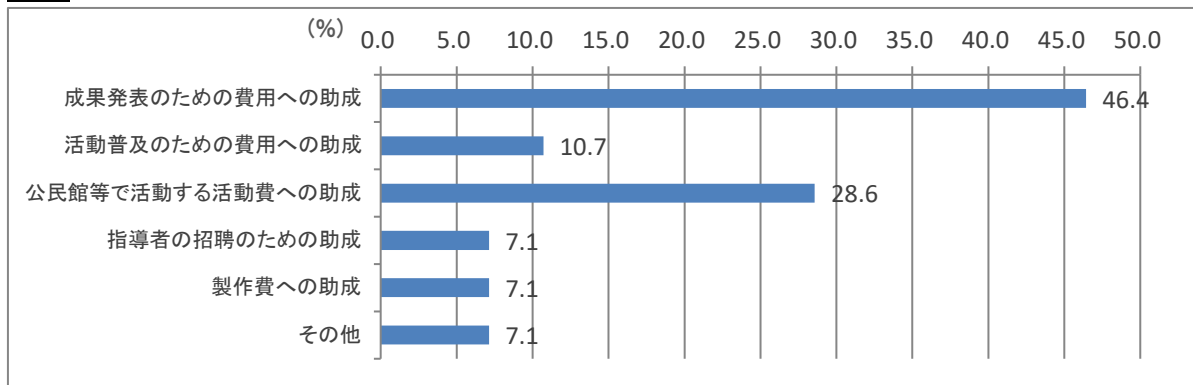
(複数回答)

団体 (回答数 88)



(その他) 中央からの講師への謝礼金に対する助成/子供たちへの伝承活動への支援/大きい楽器の保管場所の設置/活動の宣伝活動への支援/活動団体の活動内容がわかるHP作成など。

学生 (回答数 28)



(その他) 広くて練習に適した施設を借りられる仕組み／大学からの助成など。

【問 21】 市のこれからの取組についての意見 (自由記載)

団体

(貸館事業) 舞台専門スタッフの常駐／イベントのスタッフ業務のサポート／三曲に使用する備品の保管場所確保／公民館の利用区分の見直しで使用料の負担を減らしたい／改修工事のスピードを上げて早く使わせてほしいなど。

(人材育成) 趣味の多様化により能楽に興味を示す人が少なくなっている／市の取組によって市ギター協会が結成されて連携して活動できるよう希望する／民謡を後世に伝えていくための支援／若い世代の育成のための指導者の招聘など。

(情報発信) 盛岡の優れた文化の発信／HPを使いやすくなど。

(その他) 今回のアンケートの取組が大切。アンケートを重視して芸術文化の薫り高いまちに／教育委員会など積極的な取組を望む／音楽を通じた市民との楽しみの共有と地域との連携のための公民館の御理解御支援を／文化を生かして芽吹きが止まないまちにしてほしいなど。

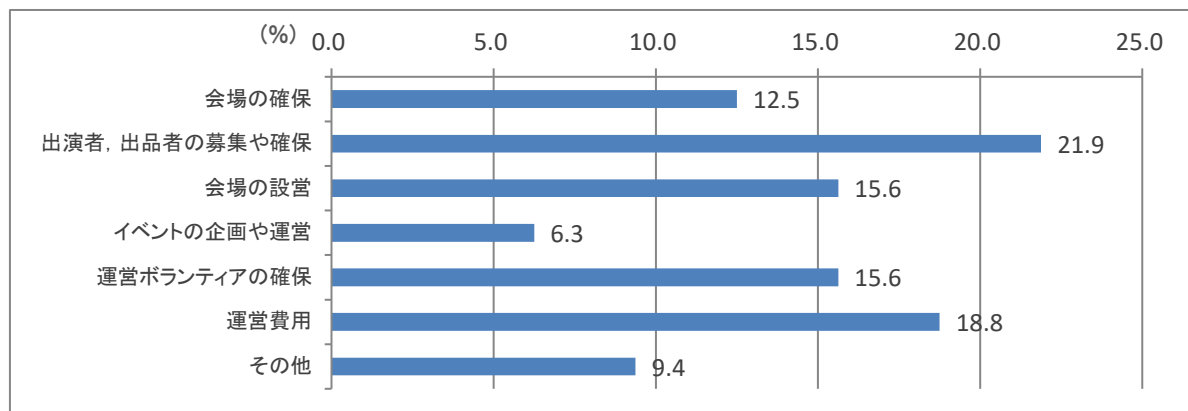
学生

多くの文化団体の活動を把握し団体の意見を聞くことが必要。互いに連携していくことで、盛岡のあらゆる団体や年齢層に広がっていく／「いしがきミュージックフェスティバル」はまちの盛り上がりを生み、活動の成果をたくさんの方々に見てもらうために続いてほしい。／学生に優しい取組で市全体の音楽活動も活性化する／期待している／市民文化ホール等で助成があれば定期演奏会で利用することを検討したい／市の取組には積極的に参加したいのでぜひ声をかけてほしいなど。

4 盛岡市の芸術文化振興に関するアンケート（イベント関連団体・町内会，その他用）

1 活動の内容について

【問1】文化に関するイベントを開催するにあたって，苦労されている点はどんなことですか。
（複数回答可，回答数 32）



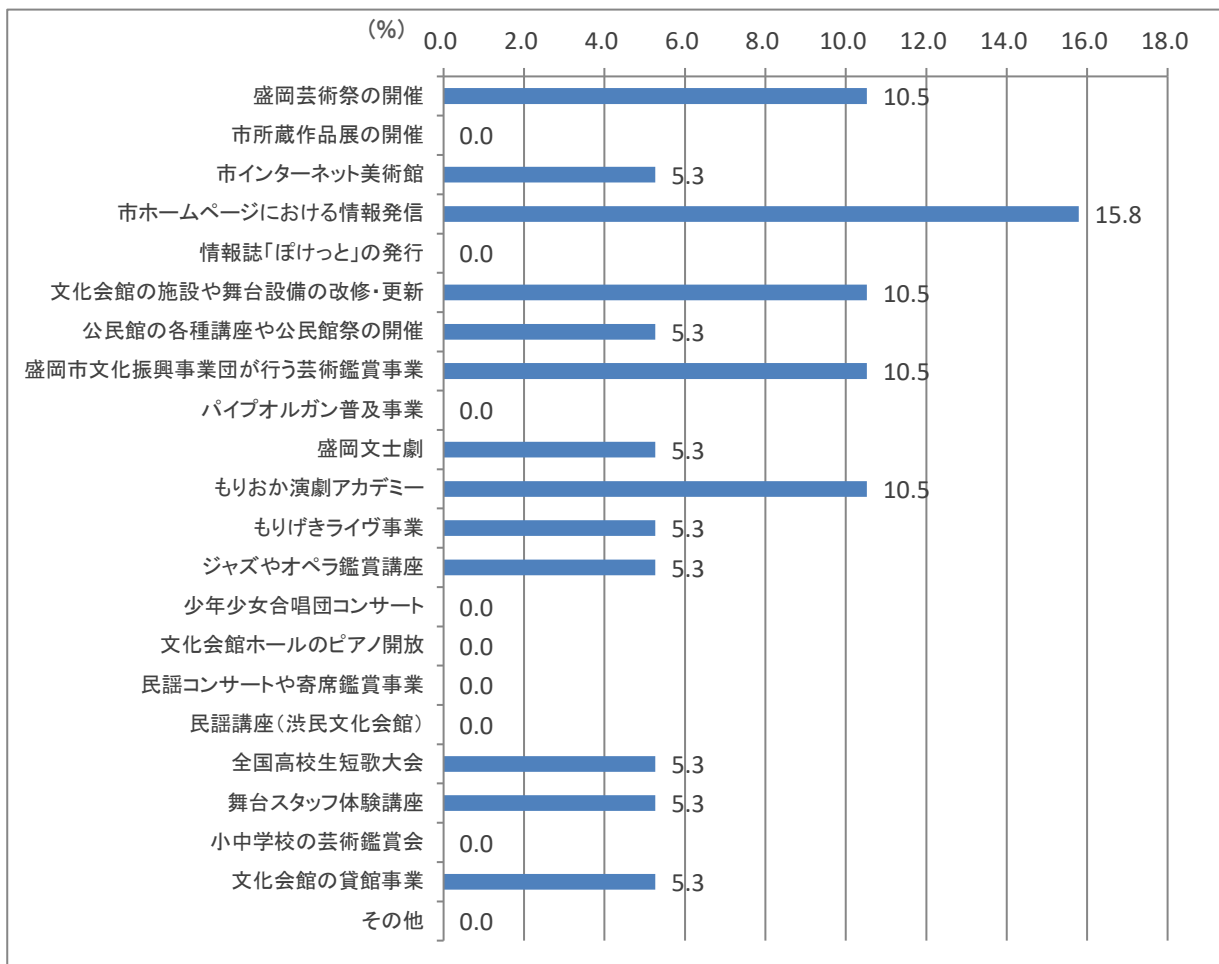
（その他）会場の老朽化／高齢者へ配慮した設備の不足／広報手段／資金／国・県の発信する文化情報の共有／会場へのアクセスなど。

【問2】皆様の活動について，ホームページや SNS などを利用した情報発信を行っていますか。
（回答数 9）

【回答】「行っている」という回答は 77.8 パーセントでした。

2 盛岡市の取組について

【問3】市や盛岡市文化振興事業団，盛岡芸術協会では，次のような事業を行っていますが，さらに充実してほしい事業はありますか。（複数回答可，回答数 19）



【問4】 充実してほしい内容について具体的に御記入ください。（自由記載）

回答

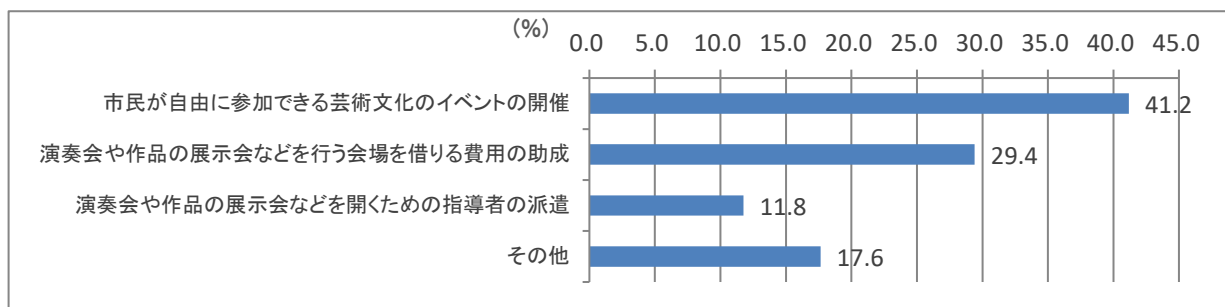
（事業内容）どの事業も満遍なく支援と情報発信をお願いしたい。／インターネット美術館の橋本美術館との連携／全国高校生短歌大会を石川啄木像のある岩山で開催／演劇には特に力を入れてもいい。会場提供は肴町でも可能／現代アート鑑賞やアーティストと触れ合う機会の充実など。

（人材育成）伝統文化や伝統芸能の体験事業を小中学校で行い、小中学生のうちに体験させることが、良い鑑賞者と担い手育成につながる／人材育成のための学校・大学などとの連携など。

（情報発信）市が持っているメディアへの情報掲載／市からメディアへの取材要請など。

（その他）練習の声々が街にあふれるように練習会場の確保と解放が望ましい。芸術は市民の活力になる。

【問5】芸術文化活動の成果を発表する機会を増やすために、市の取組としてどのようなことが必要だと思いますか。（複数回答可，回答数 17）

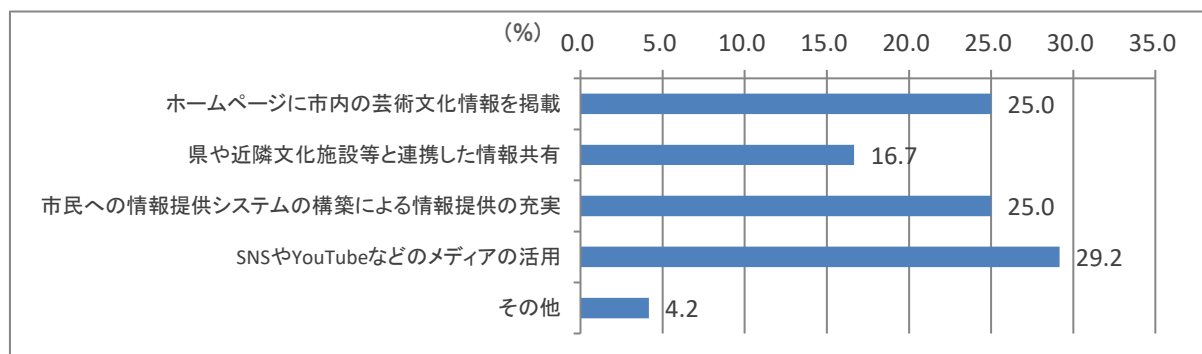


【問6】商店街の通りや空き店舗または地域で、文化に関する取組を行おうとするとき協力をお願いできるでしょうか。また、こんな取組はどうかというものがありましたら御記入をお願いします。

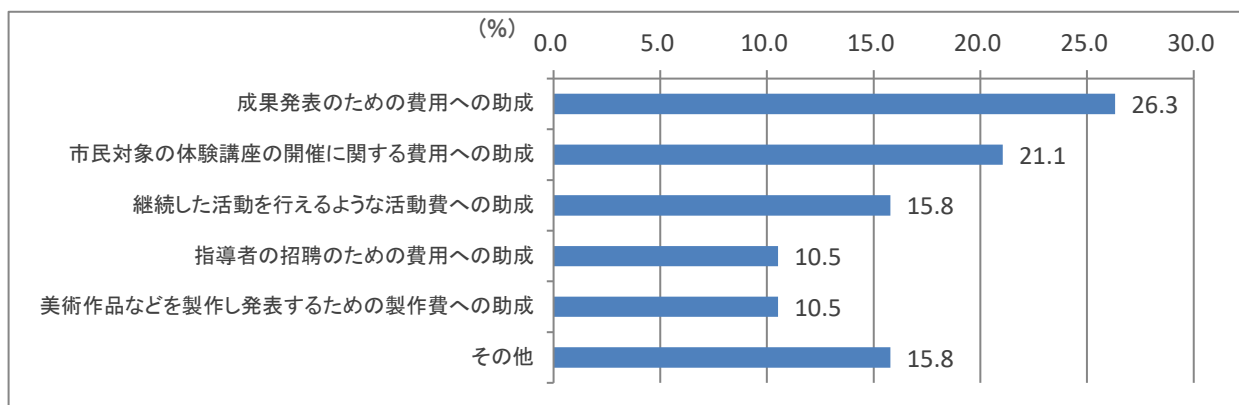
回答

肴町商店街では年に1，2回ではあるが公募型の写真展や子ども祭りの製作体験など製作展示に取り組んでいる／盛岡フラッグアート展は肴町商店街の協力を得て実施しているので、路上の作品展示など一時的なイベントであれば可能／空き店舗の利用は市がオーナーと使いたい団体とをマッチングしていくことで事業になる／肴町商店街のアーケード内を使用しているパフォーマンスは基本可能／街単位のアートイベントの企画とマップ作り／当団体は世界でも優れた実績を持ちメディアで活躍するアーティストと仕事をしているので、彼らの意見を伝えることが可能／バスセンター跡地に大型テントを常設して各種イベントを行う場所を市が提供する／もりおか歴史文化館前広場やプラザおでって前広場もイベント会場として使用できるよう呼びかけてほしい／文化施設を活用できるイベントを民間とタイアップして行うミーティング等を実施してほしい／街なかに催事・活動・参加の方法，チケット販売などが分かる場所があると便利でおもしろい／岩山公園と周辺をテーマパークとして生かす。喫茶店舗での文化公演等開催など。

【問7】市内の幅広い芸術文化情報を国内外に発信するために、市の取組としてどんな方法が有効だと思いますか。（複数回答可，回答数 24）

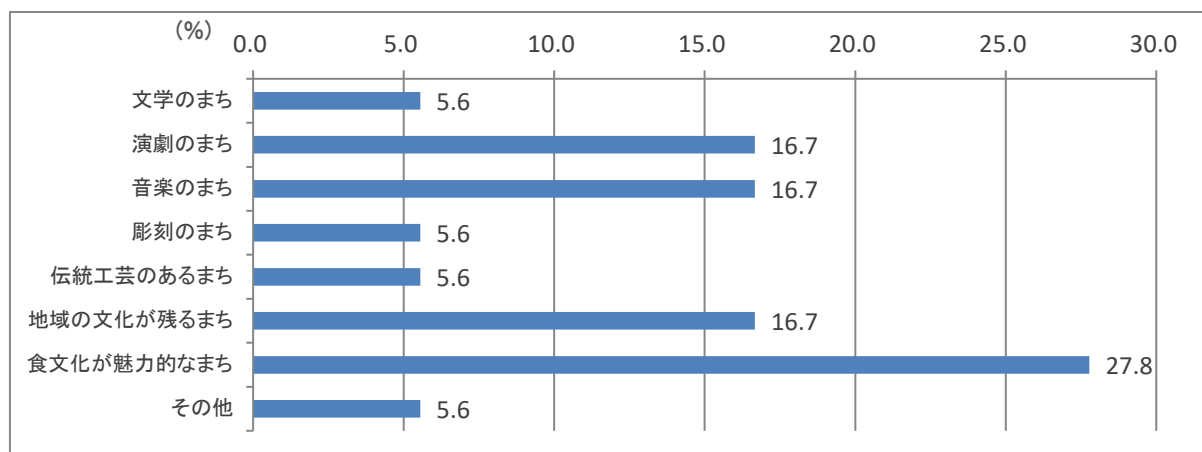


【問 8】芸術文化活動を行う団体等への支援として、どのようなことを期待しますか。
 (複数回答可) (回答数 19)



(その他) 各地域で開催している文化祭・芸能祭への支援, 情報発信の協力/各メディアへの取り上げへの協力/場所と団体とのマッチング事業/各団体を取りまとめた〇〇祭りの企画運営/活動費用などへの助成は大きい合意形成が必要。/ギャラリーや市民劇団の活動場所としての空き物件の活用/盛岡以外に住んでいて盛岡を発信しているアーティストを大切にする/民間の小さい企業の製作に参加し地域に関心を持ち, 経済的にも地元で循環, 活性化させていく取組など。

【問 9】盛岡を発信していく文化として、どのようなものをイメージしますか。
 (複数回答可, 回答数 17)



(その他) 絵画のまち, 書のまち

【問 10】市のこれからの取組についての意見 (自由記載)

回答

河南演芸フェスティバルや地元学講座など地域の守り育ててきた風土も大切にしてほしい/各団体の活動資金は各団体の自主性に委ね, 市は団体と発表場所とをマッチングするような位置づけがよい/盛岡のオンリーワンは市民劇団。土壌がある演劇をプロモーションすればオンリーワンになれるはず/新しいイメージ作りと発信/芸術家と子供たち, 市民を結ぶ取組を公募し取り入れてほしい/助成の仕組みの見直し/芸術家に愛されるまち, 芸術家が多

く住むまち，その理由を掘り下げることにも新しい魅力の発見につながる／安価もしくは無償で借りられる施設を用意してほしい／施設の業務委託は利用者と共に創造し専門的知識，技能を役立ててもらふ姿勢が望まれる／幼児から高齢者に至る市民が活動に参加することによって健康で豊かな人生を送り，幸せな市民が暮らすまち・盛岡になることを期待したいなど。

5 アンケート調査に付随した聴き取り及び意見交換の結果の分析

芸術文化に触れられる取組について

異なる分野の団体が一緒に発表会やイベントを行うことで、違うものに触れられる機会になるという意見や、誰もが参加でき、舞台発表や作品展示などを一堂に会して行う文化祭のような企画を市が行うとよいという意見から、市が主催する芸術文化フェスティバルのような企画が求められています。

成果を発表する機会について

芸術協会各部門では場所の確保に苦勞している団体が多くありました。公共施設が限られている中で、民間施設も含めた場所の確保について検討する必要があります。

学生からは、自分たちではなかなか発表する場を持つことができないので、公民館などで作品募集などがあれば参加したいという意見や市が主催する文化祭のようなものがあればぜひ参加したいという意見があり、市が主催するイベントなどにより発表する機会を提供することが求められます。

担い手の育成について

伝統文化親子教室をいくつかの団体と協働しながら市が主導で企画できないか、文化会館にアウトリーチ事業を行ってほしいなどの意見があり、文化庁や岩手県などが助成する事業の活用や学校や地域への芸術普及活動の推進を行っていく必要があります。

情報発信について

現在はそれぞれの団体がバラバラに広報しているので情報発信力に欠けるという意見やホームページのトップページで盛岡の芸術文化情報にアクセスできるようにしてほしいという意見、文化会館の主催事業が中心の「ぼけっと」にいろいろな文化イベントの情報を掲載してほしいという意見がありました。

学生からは、演奏会等の周知はポスターやチラシのほか、ホームページやSNSによる情報発信を行っており、日にちを入力してその日の情報を検索できるサイトがあれば集客につながるという意見がありました。

情報の取り易さのためには紙媒体の情報提供もあるとよい、駅のインフォメーションなど観光スポットと連携して周知するとよいという意見がありました。

市のホームページを中心に、市内の芸術文化情報を一元的に見られるサイトの創設が求められているほか、気軽に手に取れるよう紙媒体での情報提供も必要と考えられます。

活動の課題について

学生からは、人数が少ないという意見やもっと知名度を上げて新しいお客さんに演奏会に来てもらいたいという意見、地域の方や小中学生と関われる活動をしたという意見などがありました。個々の活動を情報収集し、市が持つ媒体を活用して情報発信に協力することにより、各団体の活動に関心を持つ人を増やし活動の充実に寄与することが求められています。

市が行う支援について

芸術監督等の専門家の配置による文化施策の展開や、「盛岡芸術祭」は学生を取り込んだ新しい取組にしてほしい、学校の吹奏楽部などイベントの出演団体としての出演交渉を取り次いでほしいという意見があり、文化会館への専門家の配置やイベントのコーディネートの役割などが求められています。

また、会場使用料だけでなく、郷土芸能団体は太鼓や衣装の運搬、吹奏楽も楽器の運搬などに費用がかかるので、そういうところへの支援という意見があり、芸術文化団体の活動費用の助成について検討する必要があります。

Ⅱ 聴き取り調査

1 調査の方法

調査方法 集団による対面式の意見聴取
調査期間 平成30年8月から平成31年2月まで。
調査対象 芸術文化活動団体，大学サークル，盛岡芸術協会各部門，公民館利用者，芸術文化推進団体，イベント主催団体
団体数 延べ28団体。組織・活動形態は次のとおり。

<区分>

芸術文化団体	公民館利用者	学 生	イベントの実行委員会	芸術文化推進団体・その他	合計
17	4	4	1	2	28

2 聴き取りや意見交換における意見

1 盛岡芸術協会各部門との意見交換

芸術文化に触れられる取組について

- ・盛岡芸術祭では異なる部門が一緒に行くことで、違うものにも触れる機会になる。
- ・都南地区では昔の都南文化協会が中心になって文化祭をやっている。盛岡でもそういうことができればよい。
- ・いろいろな部門が15分くらいの持ち時間で舞台発表し、絵画や写真などもロビーに展示して行う文化祭ができればよい。
- ・体験会をやらうとしても、父母の同伴が必要なことや学校行事との関係などもあり学校からの参加は少ない。

成果を発表する機会について

- ・空き店舗を活用した展覧会などがやれないか。
- ・公民館の会場予約を3ヵ月より前から行えないか。
- ・民謡部門では発表はいろいろ工夫しており、商店街側からも声がかかることもあり、芸術祭前にボランティアで公演したりしている。
- ・邦舞は社中ごとに発表会を行っているが、経費の関係で毎年はできない。
- ・能楽は所作台が付きまとうが、台のある施設や調達できる施設は限られている。
- ・畳のある施設が少ないので、歴史文化館のような人の集まるところに場所があるといい。

担い手の育成について

- ・伝統文化親子教室は日本舞踊や華道を一堂に会して行うことで、子供たちも視野を広げるいい機会になるので市が主導で企画できないか。
- ・年齢や流派など問わずに展示会を行ったら、高校生や学生も出品してくれた。
- ・さんさ踊りは学校でやるようになって大衆化して誰もが参加できるようになった。
- ・日本画は道具代がかかるし、教える教室も少ない。単独で展示会をするのは大変なので、いくつかの部門で一堂に会してやるのはよい。
- ・県芸術文化協会が行う学校への派遣事業は人気がある。子供たちにとって20、30年後に有効な取組である。
- ・「歴史風土に包まれた」という理念のためには、芸術文化を子供たちに触れさせて、価値を認めてもらって、やりたい子供を増やすことが重要。民謡も文化財にすれば学校も取り組みやすい。

情報発信について

- ・ホームページだとパソコンをやらない人もいるのでどうなのか。
- ・若い人はホームページでもいいが、時間のある人は広報が一番いい。

盛岡の文化のイメージについて

- ・文学のまちとか、伝統芸能のまちではないか。「歴史風土に包まれた」というのはみんなを包み込んでいてよい。どれかひとつというのは難しい。
- ・青森はねぶたひとつだからパワーがあって全国への発信力もある。盛岡はひとつには絞れないが、文化レベルの高いまちだと言われている。

2 個別に活動している方々との意見交換

管弦楽団代表，劇団主宰者又は劇団員，脚本家・文芸評論家，映像カメラマン・映像制作講座講師，美術家・イラストレーター・絵画教室講師，芸術文化推進団体職員など。

成果を発表する機会について

- ・文化会館のホールは，空いていたら割り引いて貸し出すなど，有効活用すべき。
- ・子供たちの音楽活動を支援してほしい。
- ・若い劇団員は稽古場料の高さで挫折している。
- ・劇の練習場としてもそうだが，学校の空き教室の活用はできないか。
- ・それぞれの主体がバラバラに広報しているものをどこがやればよいか。

担い手の育成について

- ・プロの活動家が生活していけるような土壌を作してほしい。
- ・子供劇団をつくってほしい。
- ・子供たちが一流の音楽家と演奏できる弦楽講座を復活してほしい。
- ・演劇をやっている若い団体にお金の支援やアピールの応援をしてほしい。
- ・文化会館に人材育成のためのアウトリーチ事業をやしてほしい。
- ・市外にいる盛岡に愛着を持っている人材を活用すべき。
- ・指導者のレベルの確保とそのための研修が必要。

市が行う取組について

- ・学生を取り込んで「盛岡芸術祭」も協働して新しい取組にしてほしい。
- ・文化会館の事業は，教育普及，人材育成の意義深い事業を行う必要がある。
- ・「短歌甲子園」は参加校も減っており，持続可能な大会にしてほしい。
- ・「もりおか映画祭」と岩手芸術祭の映像フェスティバルをジョイントしてほしい。
- ・活動の拠点となる文化施設は，各芸術文化団体による施設運営を促進すべき。
- ・芸術監督等の専門家を配置し，文化団体やNPO，市民と市が連携し，文化施策を展開する必要がある。
- ・基本計画はこれまでの活動の検証の上に立ち，必要不可欠な事業を策定すること。

市が行う支援について

- ・小規模空間での創造的活動に言及し，その役割の大切さを記述してほしい。市の施策は財政支援より情報提供や新しい試みに対する顕彰のほうが良い。
- ・補助制度は必要な補助なのかきちんと検証しながら補助すべき。

情報発信について

- ・ホームページのトップページで、盛岡の芸術文化情報にアクセスできるようにしてほしい。
- ・「ぼけっと」にはいろいろな文化イベントの情報を集めるべき。
- ・盛岡及び盛岡広域圏の文化、芸能情報をまとめたものを冊子とウェブ版で発行できないか。
- ・いろいろなところと連携した情報発信を。

3 岩手大学学生サークルとの意見交換

成果を発表する機会について

- ・老人ホームや小中学校での訪問演奏を行っている。小中学校の体育館などなかなか普段芸術に触れられない方々にこちらが出張する形でのコンサートも行っている。
- ・小さい発表会もちょこちよこやっているのでも実質的には毎月1回くらいの本番がある。
- ・同じ内容でよければ依頼があってもできる。
- ・公民館などで作品募集があったら気軽に参加したい。
- ・総合文化祭のようなものがあればぜひ参加したい。一市民としても観に行きたい。

会員の募集について

- ・団体への加入の周知は、SNSはみんなやっている。
- ・演奏会とか学内でのゲリラライブとか、SNS、YouTubeとかネット関係のツールを使っている。
- ・中高生対象の演奏会は将来の部員を想定して、いろんなオファーをもらう中で優先している。

活動の課題、市が行う支援について

- ・人数が少ない。
- ・もっと知名度を広げて、新しいいろんなお客さんに知ってもらって演奏会に来てもらいたい。
- ・学生を取り巻く経済状況は年々厳しくなっているので、マリオスを始めとする会場の学割をやってもらいたい。
- ・もう少し地域の方と関わられるようなつてを教えてほしい。小学生や中学生と一緒にやりたいので支援してほしい。
- ・華道は例えば留学生の団体とかがあれば交流して関心をもってもらいたい。
- ・例えば、お互いの練習会場を貸し合うとか、うまくそれがかみ合えば会場費を減らせる。
- ・部員数の減少で、活動費用の一人当たりの負担が大きくなっている。
- ・外部からの指揮者や楽器ごとにトレーナーやコーチの先生方に払う謝礼でお金がかかる。

情報発信について

- ・チラシやポスターはカワトクやななっくに置かせてもらっている。
- ・ポスターを中学校、高校の音楽部や合唱団に優待という形で送っている。
- ・よ市とか路上ライブとかイオンとかで歌わせてもらってお知らせする。
- ・学生はツイッターを利用している人が多い。生け花なのでInstagramはやりたい。
- ・フェイスブックは弱い。今の若者に対してはSNSでいかに情報発信できるか。YouTubeで演奏などを見せて良さを伝えたい。
- ・漫才や落語の映像も上げているし、公式ラインを作ってそれで追加してもらって広報してい

る。年配の方からはフェイスブックからの依頼がくる。

- ・駅前にたくさんポスターを貼りたい。
- ・例えば休みの日に検索したら、今日どこどこでこういう舞台やっているというふうになれば集客につながる。

盛岡の文化のイメージについて

- ・思いつくのは文学。材木町の宮澤賢治の像など。県内の総合的な文化がある。
- ・やっぱり食文化は根付いている。
- ・咄嗟に答えられるのは三大麺とさんさ踊りだが、実はというところで文学や演劇などいろいろなものが出てくる。
- ・岩手というと宮澤賢治で、来てから三大麺，そんなのあるんだと思った。
- ・どれも全国レベルで名前が知られるものがある。ポテンシャルがすごく高い。
- ・盛岡の音楽レベルはすごく高いと言われていて、音楽で一番になれる可能性はある。

4 いしがきミュージックフェスティバル運営委員会との意見交換

イベントの開催で苦労していることについて

- ・4月から10月までほぼ1年がかりの事業だが、事前準備にかかる部分への支援がない。
- ・イベントが大きくなって参加者が多くなると、消防や救護の体制が求められ、危険回避のため警備関係費用がかかる。
- ・販売スタッフなども学生ボランティアでよかったものが、コンサートスタッフにしなければならなくなる。

市が行う支援について

- ・いしがきミュージックフェスティバルにも、ブラスバンドや合唱など部活のようなものや郷土芸能などを入れたいので、市がプラットフォームになってコーディネートしてほしい。
- ・ブラスバンドは幅広い世代に受けが良く、イベントのオーダーも多い。
- ・郷土芸能団体はイベント出演のための太鼓や衣装など運搬費や日頃の維持費がかかる。吹奏楽なども楽器の運搬要員がないので自前で対応している。そういったところを支援できればよいのではないか。

情報発信について

- ・日にちを入力してその日の情報を検索できるサイトがあるといい。
- ・プレスリリースしてほしい人用の箱を設置して情報を収集する。
- ・情報の取り易さという点からは、紙ベースの情報もあるといい。
- ・例えば、習字がうまい中学生など、人にフォーカスした情報発信がいい。
- ・駅にインフォメーションを設置するなど、観光スポットと連携して周知するといい。

文化を感じるまちづくりについて

- ・いしがきミュージックフェスティバルで写真展を開催したところ、観客が会場を回遊する流れができた。いしがきミュージックフェスティバルも音楽だけではない原点に戻ろうという動きがある。
- ・富山では「ガラスのまち富山」としてPRしているし、鋳物で有名な高岡では市内に銅像が多くある。例えば、材木町のようなところに鋳物の作品を飾るなどして南部鉄器を生かせないか。常設であればいいが、管理は難しそうなので、市がイニシャルコストを出して、民間団体に管理は任せるような方法でできないか。
- ・映画館通日も活性化したい。

盛岡の文化のイメージについて

- ・「食文化」や「文学」のまちのイメージがある。県外のアーティストは宮澤賢治に影響を受けている人が多い。
- ・坂の上の雲で有名な松山市のように文化で観光を盛んにしたい。
- ・川があって街がきれいという自然観を伝えたい。
- ・盛岡の人ってこんな人というものを盛岡の人は持っているがそれを表には出さない。盛岡の人だから生まれた食文化や芸能など様々な文化がある。どんな活動をしている人もベースは同じものを持っている。そこを発信できればいいのではないか。

5 盛岡劇場・河南公民館利用者との意見交換

活動の状況について

- ・劇団員の中には東京などの遠隔地にいながら、盛岡の活動に参加している人もいる。
- ・七宝焼きの団体では、90代のお年寄りが楽しんで参加してくれているが、そのためには家族の協力も重要と感じる。
- ・若い世代の人にも活動に参加してほしいが、時間とお金がないと続けられない。
- ・アマチュア劇団では役者だけでなく、事務や衣装や小道具づくりもあって一人何役もやらなくてはならない大変さがある。
- ・盛岡劇場では高校生の演劇の発表会がよく行われていて、家族や友達が見に来るのでお客さんが多い。

情報発信について

- ・ホームページを持っていても、あまり見られていない。インスタグラムの口コミで拡散していく。公演が近付くにつれて芝居の稽古や公演の準備などで忙しくなり、定期的に更新していくような人員体制もないので難しい。
- ・俳句は年会費で隔月発行の会報を作っている。公民館主催の俳句講座は市民が安心して応募してくれ、講座をきっかけに俳句を続けている人もいるので、公民館主催の講座を企画してほしい。

成果を発表する機会について

- ・毎年10月の「私たちの作品展」に出品しているがその他にはない。作品を見てもらうことで宣伝して会員を増やすきっかけにしたい。
- ・俳句大会を毎月のように開いているが、自分たちだけでやっていてバックアップしてくれるところがない。
- ・演劇では、公演で人手が足りないときや劇団モリオカ市民公演などのときは劇団の枠を超えて上演している。
- ・演劇では音楽やダンスとのコラボレーションなどが行われている。舞台上で役者が読み手となって歌人の作品の朗読をするなど別ジャンルの活動家が行う舞台表現もある。
- ・アマチュア劇団が活動するには、タウンホールやミニホールくらいの場所で十分。
- ・見に来てもらうには、駐車場が課題。
- ・俳句の大会を開くには河南公民館は少し狭い。会場使用料が減免にならない施設もあり、そうになると運営が厳しい。
- ・総合文化祭のようなことは、音楽や踊りをやる人達にはいいと思う。市がプラットフォームになって各団体を公平にまとめられれば可能ではないか。

担い手の育成について

- ・俳句や演劇では、依頼があって高校の部活に講師として教えに行ったりしている。
- ・演劇団体によっては仕事をしながら活動している人が多いと日中に小中学校に出向いてワークショップを行うのは難しそうだが、文化振興事業団が行っているワークショップに参加している人もいたので可能ではないか。
- ・あらえびす記念館では澤口たまみさんが指導するエッセイや脚本の講座が人気なそうなので、そういう講座を企画してはどうか。

市が行う支援について

- ・会場使用料の減免は継続してほしい。
- ・他市では市が俳句大会を経済的にバックアップしているので盛岡でも支援してほしい。
- ・七宝焼きの活動を知ってもらうために公民館に作品を展示する場所を設けてほしい。
- ・公民館で活動する人達の発表の場として、各公民館で文化祭のようなものがないか。
- ・活動の間口を広げてほしい。インターネットなどは興味のある人しか見ないので、市役所や学校に公演等のポスターを掲示するなど、イベントの告知等に協力してほしい。
- ・文化振興事業団や教育委員会、文化国際課がどう関わりあっているかわかりやすくしてほしい。

【資料2】盛岡市芸術文化推進審議会委員名簿

(平成30年7月20日から令和2年7月19日まで)

委員名	所属・役職等
牛越 恂	盛岡芸術協会会長
菊池 昭子	岩手県弦楽研究会会長
菊池 房江	岩手工芸美術協会会長
北田 一彦	盛岡市無形民俗文化財保存連絡協議会会長
木村 敦子	kids/まちの編集室
坂田 裕一	特定非営利活動法人いわてアートサポートセンター理事長
佐々木 東	公益財団法人盛岡市文化振興事業団専務理事
佐々木 民夫	岩手県立大学名誉教授
笹原 美香	公募委員
澤野 桂子	盛岡茶道協会会長
中里 裕美	岩手県文化スポーツ部文化振興課総括課長
藤沢 清美	岩手県民謡協会会長
藤原 哲	株式会社岩手日報社編集局次長
丸山 ちはや	盛岡大学短期大学部助教
山形 正敏	公募委員
藁谷 収	岩手大学教育学部教授

(敬称略, 五十音順)

【資料3】盛岡市芸術文化推進計画策定の経過

開催日	経過	内容
平成30年7月31日	第1回芸術文化推進審議会	諮問，盛岡市芸術文化推進指針の概要，盛岡市芸術文化推進基本計画の骨子（案）の説明
8月～	芸術文化団体等からの意見聴取	
～11月	課題整理，計画案の検討	
11月9日	盛岡芸術協会との意見交換会	
11月29日	第2回芸術文化推進審議会	芸術文化団体等からの意見聴取結果の説明，基本計画に位置付ける具体的事業について
12月21日	岩手大学学生サークルとの意見交換会	
平成31年2月12日	河南公民館利用者との意見交換会	
2月19日	第3回芸術文化推進審議会	計画案について
4月	パブリックコメントの実施	
4月26日	盛岡市教育委員会定例会	
5月20日	庁議	
5月28日	市議会全員協議会	
6月26日	第4回芸術文化推進審議会	答申
6月28日	盛岡市芸術文化推進計画策定	
令和3年2月16日	令和2年度第2回芸術文化推進審議会	計画策定時に「今後設定する」としていた成果指標及び活動指標を定めた
令和3年2月16日	盛岡市芸術文化推進計画（修正） （決裁）	

盛岡市交流推進部文化国際課

〒020-8530 岩手県盛岡市内丸12番2号

TEL 019-613-8465

FAX 019-622-6211

E-mail bunkakokusai@city.morioka.iwate.jp